

平成25(2013)年度 法学研究科博士課程前期2年の課程 入学試験問題(一般選抜)

(科目名) 民法

以下の【第1問】および【第2問】のすべてに解答しなさい。

【第1問】 Aは、Bとの間で、Aが所有する土地甲をBに対して売却する旨の売買契約を締結し、

登記も移転したが、その後、Bの代金債務の不履行を理由として、当該契約を解除する旨の意思表示を

Bに対して行った。しかし、Aが甲の登記名義を取り戻す前に、Bは、自身が登記名義人となっている

ことを奇貨として、Cとの間で、Bが甲をCに対して売却する旨の売買契約を締結した。

この場合において、甲の所有権をめぐるAとCの優劣をどのように決するかについて、二つの

見解を挙げ、その相違を説明しつつ、そのどちらをどのような理由により支持すべきかを論じなさい。

【第2問】 債権者代位権の転用について、具体例を一つ挙げ、どのような意味で「転用」なのかを説明

しなさい。

以上